



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 NCホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6236 URL <https://www.nc-hd.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶原 浩規  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 部長 (氏名) 関 健一 (TEL) 03-6625-0001  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,358	△2.4	44	—	△20	—	△140	—
2023年3月期第3四半期	9,584	4.2	△25	—	△48	—	△110	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △10百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △120百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△32.33	—
2023年3月期第3四半期	△25.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,003	7,417	53.0
2023年3月期	14,806	7,655	51.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,417百万円 2023年3月期 7,655百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△0.9	600	△4.0	500	△18.3	350	4.1	80.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	4,685,745株	2023年3月期	4,685,745株
2024年3月期3Q	321,224株	2023年3月期	342,943株
2024年3月期3Q	4,356,229株	2023年3月期3Q	4,320,325株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、当社として実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、社会経済活動の正常化が一段と進み、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の増加など、景気は回復基調で推移しました。一方で、一部の材料調達難の長期化、原材料・エネルギー価格の高止まり、物価の上昇などに加え、ウクライナや中東地域をめぐる情勢不安、中国経済の先行き懸念、円安傾向の長期化等の外部要因によって、景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

このような環境下、当社グループでは、立体駐車装置の新設工事は増加しましたが、コンベヤ新設工事、再生エネルギー関連の機器販売が減少したことにより、売上高は9,358,110千円(前年同四半期比2.4%減)となりました。損益面につきましては、仕入価格の上昇、立体駐車装置新設工事に係る工事損失引当金の計上等があったものの、コンベヤ新設工事の原価低減等により営業利益44,417千円(前年同四半期営業損失25,423千円)、受取配当金等の計上はありましたが、手数料の発生等により経常損失は20,558千円(前年同四半期経常損失48,041千円)、法人税等の計上、繰延税金資産の取崩により親会社株主に帰属する四半期純損失は140,858千円(前年同四半期純損失110,672千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

#### [コンベヤ関連]

コンベヤ関連では、部品販売は順調に推移しましたが、石炭火力発電所向、石灰石運搬用設備向の売上が前年同期より減少したことにより、売上高は2,869,849千円(前年同四半期比18.4%減)、セグメント利益は生産高不足による操業差損の発生はあったものの、発電所及び石灰石運搬設備の手直し工事費等の減少による原価低減により449,771千円(前年同四半期比40.2%増)となりました。

#### [立体駐車装置関連]

立体駐車装置関連では、新設工事の納入、保守部品交換、保全工事ともに前年同期よりも増加し、メンテナンスも前年並みに推移したことにより売上高は4,622,275千円(前年同四半期比12.3%増)となりましたが、セグメント利益は、原材料費の高騰による新設工事、部材のコスト増、工事損失引当金の計上等により172,149千円(前年同四半期比3.6%増)にとどまりました。

#### [再生エネルギー関連]

再生エネルギー関連は、太陽光発電所設備の販売が無かったことに加え、太陽光発電用機器の販売が減少したことにより、売上高は1,865,985千円(前年同四半期比4.5%減)、仕入価格の上昇等はありませんでしたが、販売価格への転嫁が進んだことによりセグメント利益は122,870千円(前年同四半期比74.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、連結子会社が増加しましたが、前連結会計年度と比較して803,042千円減少の14,003,922千円となりました。主な内訳は、電子記録債権が567,253千円、製品が318,582千円、仕掛品が288,431千円、投資有価証券が167,230千円増加しましたが、現金及び預金が1,068,776千円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,373,976千円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度と比較して565,407千円減少の6,585,964千円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が133,920千円、電子記録債務が184,815千円、未払法人税等が136,616千円減少したことによるものです。純資産は、前連結会計年度と比較して237,636千円減少の7,417,957千円となりました。主な内訳は、その他有価証券評価差額金が129,932千円増加しましたが、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が423,141千円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループをとりまく経済環境は、新型コロナウイルス感染症による国内の行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られましたものの、ウクライナ情勢、円安傾向の長期化等の外部要因によって、一部の材料調達難の長期化、原材料価格の高騰、物価の上昇などにより不透明な状況が続いております。このような環境下ではありますが、第4四半期は立体駐車装置の新設工事、コンベヤ保守部品の納入、立体駐車装置のメンテナンスも堅調に推移する見込みであることから、2023年5月15日発表の当期の連結業績予想に変更はありません。配当については、今後の状況を踏まえて決定いたしたく現時点では未定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,528,762	4,459,986
受取手形、売掛金及び契約資産	3,709,306	2,335,329
電子記録債権	83,837	651,090
製品	391,076	709,658
仕掛品	446,808	735,239
開発事業等支出金	393,465	425,867
原材料及び貯蔵品	724,657	838,792
その他	406,670	605,723
貸倒引当金	△17,321	△13,067
流動資産合計	11,667,263	10,748,622
固定資産		
有形固定資産	1,322,239	1,359,543
無形固定資産		
のれん	94,212	53,835
その他	121,903	135,658
無形固定資産合計	216,115	189,494
投資その他の資産		
投資有価証券	681,642	848,872
その他	995,757	933,799
貸倒引当金	△76,054	△76,410
投資その他の資産合計	1,601,345	1,706,261
固定資産合計	3,139,701	3,255,299
資産合計	14,806,964	14,003,922
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,118,848	1,984,927
電子記録債務	1,059,911	875,095
短期借入金	400,000	420,000
1年内返済予定の長期借入金	197,533	177,463
未払法人税等	165,222	28,606
契約負債	806,978	725,601
賞与引当金	133,288	50,939
完成工事補償引当金	135,000	149,000
工事損失引当金	263,000	320,000
移転損失引当金	26,560	26,560
その他	331,622	392,637
流動負債合計	5,637,964	5,150,831
固定負債		
長期借入金	125,000	33,666
退職給付に係る負債	953,742	996,507
移転損失引当金	139,364	119,184
その他	295,300	285,775
固定負債合計	1,513,406	1,435,133
負債合計	7,151,371	6,585,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,800,000	3,800,000
資本剰余金	76,037	109,487
利益剰余金	3,826,051	3,402,910
自己株式	△301,786	△279,664
株主資本合計	7,400,302	7,032,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215,982	345,914
土地再評価差額金	39,308	39,308
その他の包括利益累計額合計	255,290	385,222
純資産合計	7,655,593	7,417,957
負債純資産合計	14,806,964	14,003,922

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	9,584,654	9,358,110
売上原価	7,919,688	7,703,992
売上総利益	1,664,965	1,654,118
販売費及び一般管理費	1,690,389	1,609,700
営業利益又は営業損失(△)	△25,423	44,417
営業外収益		
受取利息	397	350
受取配当金	22,126	24,946
持分法による投資利益	7,690	12,021
有価証券売却益	18,018	17,143
その他	25,009	14,372
営業外収益合計	73,242	68,834
営業外費用		
支払利息	4,371	3,044
有価証券売却損	4,313	1,842
アドバイザー費用	72,000	123,000
その他	15,176	5,923
営業外費用合計	95,861	133,810
経常損失(△)	△48,041	△20,558
特別利益		
固定資産売却益	363	-
投資有価証券売却益	29,601	8,660
特別利益合計	29,965	8,660
特別損失		
固定資産廃棄損	1,185	11
投資有価証券評価損	2,347	-
特別損失合計	3,533	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,609	△11,908
法人税等	89,062	128,949
四半期純損失(△)	△110,672	△140,858
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110,672	△140,858



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△110,672	△140,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,645	129,932
その他の包括利益合計	△9,645	129,932
四半期包括利益	△120,317	△10,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120,317	△10,926

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	再生エネル ギー関連			
売上高						
外部顧客への売上高	3,515,834	4,115,975	1,952,844	9,584,654	—	9,584,654
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,515,834	4,115,975	1,952,844	9,584,654	—	9,584,654
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	320,703	166,103	70,388	557,195	△582,618	△25,423

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△582,618千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	再生エネル ギー関連			
売上高						
外部顧客への売上高	2,869,849	4,622,275	1,865,985	9,358,110	—	9,358,110
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,869,849	4,622,275	1,865,985	9,358,110	—	9,358,110
セグメント利益	449,771	172,149	122,870	744,791	△700,373	44,417

(注) 1 セグメント利益の調整額△700,373千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、株式会社ジャパンシステムサービスの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「立体駐車装置関連」のセグメント資産が139,383千円増加しております。

## 3. 補足情報

## (1) 販売実績

当事業年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	2,869,849	△18.4
立体駐車装置関連	4,622,275	+12.3
再生エネルギー関連	1,865,985	△4.5
合計	9,358,110	△2.4

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

## (2) 受注実績

当事業年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	4,531,684	+88.0	7,068,486	+10.0
立体駐車装置関連	5,489,783	△14.2	9,095,243	△1.9
再生エネルギー関連	1,729,975	△22.0	1,306,601	△16.8
合計	11,751,443	+6.6	17,470,331	+1.2

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。